# 安全データシート



キット 化学品の名称 キット カタログ番号 Bio-Plex Human Cytokine Assay Kit

171A1001P

改訂日 2023-08-15

## 構成品

カタログ番号	化学品の名称
9723892, 9703892, 9704415, 10014822, 10014823	Bio-Plex Assay Buffer
10014642	Bio-Plex Sample Diluent
171DM0001, 171D10001, 10004929, 171D10002, 10002134,	Bio-Plex Standard / Control
10002842, 171I10002, 10001855, 171D10501, 171D10502, 171I10501,	
171110502, 171DC5000, 171DC5001, 171DA0001, 171DA0501,	
171170050, 171D50001, 171D60001, 171I50001, 171I60001,	
10040214, 10040216, 171DM0502, 171DM0501, 12005502, 12005503	
10008286	Human Serum Standard Diluent
9704717	Human Plasma Standard Diluent
10014485	Bio-Plex Cytokine Detection Antibody
171304500, 9703893, 9704416	Bio-Plex Wash Buffer A
10014639, 9703894, 9704417, 10014640	Bio-Plex Detection Antibody Diluent
171304501, 9704418, 9703887, 9703897	Streptavidin-PE
10006311	Cytokine Coupled Magnetic Beads (25x)

ページ 1/64 KITJ / EN



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2022-10-18 改訂番号 1.2

#### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Bio-Plex Assay Buffer

カタログ番号 9723892, 9703892, 9704415, 10014822, 10014823

安全データシート の供給者の詳細

製造者 本社

Bio-Rad Laboratories Inc.

1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 **USA** 

緊急連絡電話番号

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬 使用上の制限 情報なし

#### 2. 危険有害性の要約

GHS <b>分類</b>			
世界調和システム(の	:HS)による6除物	右害性の物質で‡	、混合物でもない

世外調和ノスノム(GDS)による厄陕初有古住の初貝でも、此口初でもない	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

#### ラベル要素

#### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

## 注意書き

安全対策 ・該当しない

#### 応急措置

・該当しない

該当しない

#### 廃棄

該当しない

# 他の危険有害性

該当しない。

### 3. 組成及び成分情報

**化学物質・混合物の区別** 製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベ ントリ	安衛法番号
水	7732-18-5	50 - 100	既存	-	情報なし	
企業秘密	企業秘密	1 - 2.5	情報なし	記載されてい	情報なし	記載されてい
				る		る
企業秘密	企業秘密	0.3 - 0.99	既存	収載なし	既存	収載なし
企業秘密	企業秘密	0.1 - 0.299	既存	収載なし	既存	収載なし

#### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

### 労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

口をすすぐこと。 飲み込んだ場合

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。

#### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。 **急時措置** 

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

### 8. ばく露防止及び保護措置

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 許容濃度

生物学的職業性ばく 露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

<u>保護具</u>

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 特別な保護具は必要とされない。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

水溶液 物理状態 液体 無色 色 無臭

臭いのしきい値 情報なし

備考 ·方法 <u>特性</u> 值\_

融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性\_\_\_\_\_ 0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F

データなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 分解温度 情報なし -タなし 情報なし

粘度 動粘性率 データなし 情報なし

動的粘度 データなし 情報なし 水と 混和 水への溶解度

データなし 溶解度 情報なし データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 情報なし データなし 蒸気圧 情報なし

密度及び/又は相対密度

相対密度 データなし 情報なし データなし 相対ガス密度 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 酸化性 情報なし 情報なし

#### 10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

-静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

#### 有害性情報

#### 急性毒性

分類できない。

#### 毒性の数値尺度 - 製品情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
水	> 90 mL/kg ( Rat )	-	-
企業秘密	= 3 g/kg (Rat)	> 10000 mg/kg ( Rabbit )	> 42 mg/L (Rat)1 h
企業秘密	= 8290 mg/kg ( Rat )	> 7940 mg/kg ( Rabbit )	> 0.83 mg/L (Rat) 4 h

症状 情報なし。

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 経口

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 Bio-Plex Assay Buffer 改訂日 2022-10-18

\_\_\_\_\_

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

**発がん性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
企業秘密	-	LC50: 5560 - 6080mg/L (96h,	EC50: =1000mg/L (48h, Daphnia
		Lepomis macrochirus)	magna)
		LC50: =12946mg/L (96h, Lepomis	EC50: 340.7 - 469.2mg/L (48h,
		macrochirus)	Daphnia magna)
		LC50: 6020 - 7070mg/L (96h,	, , ,
		Pimephales promelas)	
		LC50: =7050mg/L (96h,	
		Pimephales promelas)	
		LC50: 6420 - 6700mg/L (96h,	
		Pimephales promelas)	
		LC50: 4747 - 7824mg/L (96h,	
		Oncorhynchus mykiss)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.095 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性情報なし。

土壌中の移動性情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

#### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

#### 14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 IATA <u>日本</u> 規制対象外

#### 15. 適用法令

#### 国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない **労働安全衛生法** 通知対象物質 該当しない 表示対象物質

該当しない 毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法: 該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

#### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

#### 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2022-10-18

既存情報のフォーマット変更・更新済。

#### 安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ぱく露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均) 最大限界值 天井値 経皮吸収 感作性物質

本SDS**の編集に使用した主要参考文献及びデータ源** 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

イロドリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類

オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所) NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構 世界保健機構

#### <u>免責事項</u>

**元見 〒場** このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2023-08-09

改訂番号 1

### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Bio-Plex Sample Diluent

カタログ番号 10014642

安全データシート の供給者の詳細

本社

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

**USA** 

緊急連絡電話番号

製造者 Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive

Hercules, California 94547 USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬 使用上の制限 情報なし

#### 2. 危険有害性の要約

GHS	分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でま 急性毒性(経口)	
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

#### ラベル要素

#### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

## 注意書き

**安全対策** ・該当しない

### 応急措置

・該当しない

該当しない

廃棄

改訂日 2023-08-09 Bio-Plex Sample Diluent

該当しない

#### 他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法 <u>通知対象物質</u>

該当しない

<u>表示対象物質</u> 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

#### 5. 火災時の措置

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

水噴霧でドラムを冷却すること 特有の消火方法

警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

**消火活動を行う者の特別な保護具及び** 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 **予防措置** 用保護具を使用すること。

#### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。 急時措置

改訂日 2023-08-09 Bio-Plex Sample Diluent

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

<u>取扱い</u>

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 生物学的職業性ばく 露限界値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 特別な保護具は必要とされない。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

水溶液 物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

値 備考 · 方法

0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F 融点/凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性\_\_\_\_ データなし

情報なし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 該当しない 情報なし 蒸発速度 データなし 情報なし

情報なし

情報なし

該当しない

自然発火点 分解温度 ータなし 情報なし ータなし 情報なし pH **粘度** 

動粘性率 データなし 動的粘度 データなし

水への溶解度 水と混和 情報なし 溶解度 データなし n ーオクタノ ール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし 情報なし情報なし データなし

密度及び/又は相対密度

データなし 相対密度 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性 粒径 データなし 該当しない データなし

その他の情報

粒径分布

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

### 10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

#### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

症状 情報なし。

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 吸入 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.095 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

### 13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

#### 14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 <u>日本</u> 規制対象外

#### 15. 適用法令

#### 国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない。...

労働安全衛生法

該当しない **通知対象物質** 

該当しない

表示対象物質

該当しない

### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法: 該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

#### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

#### 16. その他の情報

作成者 改訂日 改訂記録 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2023-08-09

この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

# 安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) TWA 経皮吸収

天井値

最大限界值 感作性物質

#### 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 無国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国医学図書館のPubMedテータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合と除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した。 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-08-09 **改訂番号** 1.3

#### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Bio-Plex Standard / Control

カタログ番号

東京都品川区東品川2-2-24

171DM0502, 171DM0501, 12005502, 12005503

#### 安全データシート の供給者の詳細

製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

緊急連絡電話番号

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ USA

株式会社

140-0002

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com

いにして 左吟出土中世 の出版マナ 乍のサイナかい

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬 使用上の制限 情報なし

#### 危険有害性の要約

USA

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもた	ない
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

#### ラベル要素

#### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

# 注意書き 安全対策 ・該当しない

#### 応急措置

該当しない

Bio-Plex Standard / Control 改訂日 2023-08-09

保管

・該当しない

廃棄

該当しない

#### 他の危険有害性

飲み込むと有害のおそれ。

#### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

#### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質 該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 石けん(鹸)と水で洗うこと。

医師に連絡すること。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。 直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。 眼に入った場合

医師に連絡すること。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれ 飲み込んだ場合

ています。

**急性症状及び遅発性症状の最も重要な** 情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

#### 6. 漏出時の措置

改訂日 2023-08-09 Bio-Plex Standard / Control

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

浄化方法 汚染された表面を十分に浄化すること。 使用:。 殺菌剤。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

衛生対策 感染のおそれがある物質を取扱う場合は、一般的かつ標準的な予防措置に従ってくださ

い。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 許容濃度

生物学的職業性ばく 露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

粉末、固体物、凍結乾燥されたもの 外観

物理状態 固体 白色 色 無臭 情報なし 臭いのしきい値

Bio-Plex Standard / Control 改訂日 2023-08-09

備考·方法 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性 データなし 1461 ° C / 2661.8 ° F 情報なし

データなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 該当しない 引火点 情報なし 蒸発速度 自然発火点 分解温度 一夕 なし 情報なし ータなし データなしデータなし 情報なし 情報なし データなし 情報なし

粘度 動粘性率 データなし 情報なし

データなし 動的粘度 情報なし 水に可溶 水への溶解度 溶解度 データなし 情報なし 情報なし情報なし

データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし 密度及び/又は相対密度

相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

### 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 なし。 機械的衝撃に対する感度

#### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている ATEmix(経口) 3,129.50 mg/kg

略語及び頭文字 Rat: ラット Rabbit: ウサギ

症状 情報なし。

経口 飲み込むと有害のおそれ。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 Bio-Plex Standard / Control 改訂日 2023-08-09

**皮膚接触** この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

**発がん性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

#### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

#### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

#### 14. 輸送上の注意

IMDG規制対象外ADR規制対象外

規制対象外 <u>IATA</u>

日本 規制対象外

#### 15. 適用法令

#### 国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない **労働安全衛生法** 

該当しない

通知対象物質

該当しない

表示対象物質

該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

#### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

#### 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2023-08-09 改訂日

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

#### 安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) 最大限界值 TWA 天井値 経皮吸収 感作性物質

#### 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境体設庁、遅か双五月、双国月、双国月の 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様では

Bio-Plex Standard / Control **改訂日** 2023-08-09

ありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。 安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2023-08-09

改訂番号 1

### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Human Serum Standard Diluent

カタログ番号 10008286

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

**USA** 

緊急連絡電話番号

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬 使用上の制限 情報なし

#### 2. 危険有害性の要約

GHS	分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でま 急性毒性(経口)	
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

#### ラベル要素

### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策 ・該当しない

### 応急措置

・該当しない

該当しない

廃棄

改訂日 2023-08-09

該当しない

#### 他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

#### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 石けん(鹸)と水で洗うこと。

人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。 医師に連絡すること。 直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。 医師に連絡

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

#### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。 **急時措置** 

**緊急対応を行う者のための保護具** 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

**封じ込め方法** いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

浄化方法 使用:。 殺菌剤。 汚染された表面を十分に浄化すること。

**二次災害の防止策** 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

**衛生対策** 感染のおそれがある物質を取扱う場合は、一般的かつ標準的な予防措置に従ってくださ

い。

保管

安全な保管条件製品とラベルの指示に従って保管してください。

### 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度
この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止情報なし。

保護具

**呼吸用保護具** 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

**手の保護具** 適切な手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具適切な保護衣を着用する。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観水溶液物理状態液体色淡黄色臭い無臭

臭いのしきい値 情報なし

<u>福</u> 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 > 100 ° C / 212 ° F 備考・方法

データなし

情報なし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 該当しない 引火点 情報なし 系発速度 自然発火点 データなし 情報なし データなし 分解温度 情報なし

7.4 рΗ 粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし 水と 混和

水への溶解度 データなし データなし データなし 情報なし 溶解度 n ーオクタノ ール/水分配係数(log値) 蒸気圧 情報なし 情報なし

密度及び/又は相対密度

データなし 相対密度 情報なし データなし 相対ガス密度 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

### 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

なし。 静電放電に対する感度 機械的衝撃に対する感度 なし。

#### 11. 有害性情報

#### <u>急性毒性</u>

毒性の数値尺度 - 製品情報

症状 情報なし。

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.0941 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

#### 13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

#### 14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 日本 規制対象外

### 15. 適用法令

#### 国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

is当しない **労働安全衛生法** 

#### 通知対象物質

該当しない **表示対象物質** 

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

#### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

#### 16. その他の情報

作成者 改訂日 改訂記録 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2023-08-09

この安全デ -タシート には大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

# 安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置TWATWA(時間加重平均)

経皮吸収

天井値

最大限界值 感作性物質

#### 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA(米国環境保護庁)

会性はく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報にある

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)

世界保健機構

本見事場 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様では ありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

分類できない

改訂日 2023-08-09

改訂番号 1

### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Human Plasma Standard Diluent

カタログ番号 9704717

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

**USA** 

緊急連絡電話番号

GHS 分類

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬

使用上の制限 情報なし

#### 2. 危険有害性の要約

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当
鱼性害性/吸λ) 装气	分類できた」

忌性毒性(吸入) - カス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない

#### <u>ラベル要素</u>

### 危険有害性情報

オゾン層への有害性

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

**安全対策** ・該当しない

#### 応急措置

・該当しない

該当しない

該当しない

#### 他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

#### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 石けん(鹸)と水で洗うこと。

人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。 医師に連絡すること。 直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。 医師に連絡

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

#### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。 **急時措置** 

**緊急対応を行う者のための保護具** 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

**封じ込め方法** いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

浄化方法 使用:。 殺菌剤。 汚染された表面を十分に浄化すること。

**二次災害の防止策** 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

**衛生対策** 感染のおそれがある物質を取扱う場合は、一般的かつ標準的な予防措置に従ってくださ

い。

保管

安全な保管条件製品とラベルの指示に従って保管してください。

### 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度
この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止情報なし。

保護具

**呼吸用保護具** 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

**手の保護具** 適切な手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具適切な保護衣を着用する。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観水溶液物理状態液体色淡黄色臭い無臭

臭いのしきい値 情報なし

<u>福</u> 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 > 100 ° C / 212 ° F <u>備考 ・方法</u> 情報なし 

 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界
 データなし
 情報なし

 爆発又は可燃の下限界
 データなし
 情報なし

 引火点
 該当しない
 情報なし

 素発速度
 データなし
 情報なし

引火点該当しない情報なし蒸発速度データなし情報なし自然発火点データなし情報なし分解温度データなし情報なしpH7.4

pn /.4 **粘度** 

動粘性率データなし情報なし動的粘度データなし情報なし水への溶解度水と混和

 溶解度
 データなし
 情報なし

 n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし
 情報なし

 蒸気圧
 データなし
 情報なし

密度及び/又は相対密度

粒径データなし該当しない粒径分布データなし該当しない

その他の情報

**爆発性** 情報なし **酸化性** 情報なし

### 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性通常の条件下で安定。危険有害反応可能性通常の条件下で安定。

避けるべき条件情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

#### 11. 有害性情報

#### <u>急性毒性</u>

毒性の数値尺度 - 製品情報

症状 情報なし。

**経口** この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

**吸入** この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.0941 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

#### 13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

#### 14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 日本 規制対象外

### 15. 適用法令

#### 国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

is当しない **労働安全衛生法** 

通知対象物質

該当しない **表示対象物質** 

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

#### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

#### 16. その他の情報

作成者 改訂日 改訂記録 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2023-08-09

この安全デ -タシート には大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

# 安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置TWATWA(時間加重平均)

経皮吸収

天井値

最大限界值 感作性物質

#### 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA(米国環境保護庁)

会性はく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報にある

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)

世界保健機構

本見事場 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様では ありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-02-28 改訂番号 1.1

#### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Bio-Plex Cytokine Detection Antibody

カタログ番号 10014485

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive

Hercules, CA 94547 **USA** 

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com 緊急連絡電話番号

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬 使用上の制限 情報なし

#### 2. 危険有害性の要約

GHS <b>分類</b>		
世界調和システム(CHS)に Fス	合除物有宝性の物質でも	混合物でもない

世界調和ンステム(GHS)による厄険物有告性の物質でも混合物でもん	£6\
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

#### ラベル要素

#### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

**安全対策** ・該当しない

### 応急措置

・該当しない

該当しない

廃棄

該当しない

#### 他の危険有害性

該当しない。

### 3. 組成及び成分情報

**化学物質・混合物の区別** 混合物 製品には、指定の濃度で健康に対して<u>危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。</u>

化学名又は一般名	CAS番号		化審法インベ		安衛法インベ	安衛法番号
			<b>レントリ</b>		レントリ	
水	7732-18-5	50 - 100	既存	_	情報なし	
企業秘密	企業秘密	0.3 - 0.99	既存	収載なし	既存	収載なし
企業秘密	企業秘密	0.1 - 0.299	既存	収載なし	既存	収載なし
企業秘密	企業秘密	0.1 - 0.299	情報なし	記載されてい	情報なし	記載されてい
				る		る
Antibodies	NO-CAS-81	0.01 - 0.099	情報なし		情報なし	

#### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法 通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

眼に入った場合 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する

<u>-</u> کا

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

大規模火災 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。

### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。 **急時措置** 

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく 限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく 露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 特別な保護具は必要とされない。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

<u>備考 · 方法</u> 0 ° C / 32 ° F

特性 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性 データなし 情報なし 一タなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 該当しない 引火点 情報なし 蒸発速度 自然発火点 分解温度 データなし 情報なし 情報なし ータなし 情報なし

pH **粘度** 

動粘性率 情報なし データなし

データなし 動的粘度 情報なし 水への溶解度 水と 混和 データなし 情報なし

n ーオクタノ*ール/水分配係数(log値)* 蒸気圧 データなし 情報なし情報なし データなし 密度及び/又は相対密度

相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

#### 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

#### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

分類できない。

#### 毒性の数値尺度 - 製品情報

化学名又は一般名	<b>経口</b> LD50	経皮LD50	<b>吸入</b> LC50
水	> 90 mL/kg ( Rat )	_	_
企業秘密	= 3 g/kg ( Rat )	> 10000 mg/kg ( Rabbit )	> 42 mg/L (Rat)1 h
企業秘密	= 8290 mg/kg ( Rat )	> 7940 mg/kg (Rabbit)	> 0.83 mg/L (Rat) 4 h

症状 情報なし。

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 経口

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

**発がん性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

#### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
企業秘密	-	LC50: 5560 - 6080mg/L (96h,	EC50: =1000mg/L (48h, Daphnia
		Lepomis macrochirus)	magna)
		LC50: =12946mg/L (96h, Lepomis	EC50: 340.7 - 469.2mg/L (48h,
		macrochirus)	Daphnia magna)
		LC50: 6020 - 7070mg/L (96h,	, , ,
		Pimephales promelas)	
		LC50: =7050mg/L (96h,	
		Pimephales promelas)	
		LC50: 6420 - 6700mg/L (96h,	
		Pimephales promelas)	
		LC50: 4747 - 7824mg/L (96h,	
		Oncorhynchus mykiss)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.095 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性情報なし。

土壌中の移動性情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

情報なし。 他の有害影響

#### 13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

#### 14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u> <u>日本</u> 規制対象外

#### 15. 適用法令

#### 国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない **労働安全衛生法** 該当しない

通知対象物質 該当しない 表示対象物質 該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法: 該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

#### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

#### 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-02-28

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

#### 安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

最大限界值 天井値 経皮吸収 感作性物質

#### 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA) EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

世界保健機構

### 免責事項

水見 予切 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様では ありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-05-17 改訂番号 1.1

### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Bio-Plex Wash Buffer A

カタログ番号 171304500, 9703893, 9704416

安全データシート の供給者の詳細

製造者 本社

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

**USA** 

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com 緊急連絡電話番号

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬 使用上の制限 情報なし

#### 2. 危険有害性の要約

ات	<u>H</u>	<u>&gt;</u>	<b>7</b> 3	门尖	L	
111		П	= [	7-	•	᠆.

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でも	ない
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

#### ラベル要素

#### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

**安全対策** ・該当しない

応急措置 ・該当しない

該当しない

#### 廃棄

Bio-Plex Wash Buffer A 改訂日 2023-05-17

該当しない

#### 他の危険有害性

該当しない。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
企業秘密	企業秘密	0.01 - 0.099	既存	収載なし	既存	収載なし

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する 眼に入った場合

こと。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。 **急時措置** 

項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。 緊急対応を行う者のための保護具

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく 限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 生物学的職業性ばく露限界値

シャワー 設備対策

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 特別な保護具は必要とされない。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 無色 色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

備考 · 方法

0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲

。 一タなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし Bio-Plex Wash Buffer A 改訂日 2023-05-17

情報なし

情報なし

情報なし

引火点 情報なし 該当しない 蒸発速度 自然発火点 データなし 情報なし 情報なし データなし 分解温度 情報なし

7.4 粘度

データなし 動粘性率 情報なし データなし 動的粘度 情報なし

水と混和 データなし データなし 水への溶解度 溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし 密度及び/又は相対密度

相対密度 データなし 情報なし データなし 相対ガス密度 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 該当しない 粒径分布

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

### 10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 なし。 機械的衝撃に対する感度

#### 11. 有害性情報

<u>急性毒性</u> 分類できない。

#### 毒性の数値尺度 - 製品情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
企業秘密	= 37000 mg/kg (Rat)	-	> 5.1 mg/L (Rat) 4 h

症状 情報なし。

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 Bio-Plex Wash Buffer A 改訂日 2023-05-17

**呼吸器感作性又は皮膚感作性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

**発がん性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

#### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.095 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

**汚染容器及び包装** 空容器を再利用しないこと。

#### 14. 輸送上の注意

 IMDG
 規制対象外

 ADR
 規制対象外

 IATA
 規制対象外

 **旦本** 規制対象外

#### 15. 適用法令

国内規制

Bio-Plex Wash Buffer A 改訂日 2023-05-17

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない 表示対象物質

該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当し かい

化学名又は一般名	CAS番号	化審法			
企業秘密		優先評価化学物質			

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

#### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

#### 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-05-17

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

#### 安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

文主アーラン - 1 凡例 項目8: ぱく露防止及び保護措置 TWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

#### 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

EPA (木国塚児休護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

#### 免責事項

**元見予場** このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様では ありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-08-09 改訂番号 1.1

### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Bio-Plex Detection Antibody Diluent

カタログ番号 10014639, 9703894, 9704417, 10014640

安全データシート の供給者の詳細

製造者 本社

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

**USA** 

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com 緊急連絡電話番号

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬 使用上の制限 情報なし

#### 2. 危険有害性の要約

OIIS <b>刀</b> ね
#田田和さ、フニノ(OUC)にトスを吟物ち宝性の物質でも 温入物でも たい
世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない
急性毒性(経口)

世外調和ンスナム(GRS)による厄陕物有苦性の物質でも混合物でもない	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

#### <u>ラベル要素</u>

∩⊔c **八**粨

#### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

**安全対策** ・該当しない

#### 応急措置

・該当しない

該当しない

廃棄

#### 該当しない

#### 他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

#### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベ ントリ	安衛法番号
企業秘密	企業秘密	0.01 - 0.099	既存	収載なし	既存	収載なし

#### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

#### 労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質

該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

眼に入った場合 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する

こと。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

#### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。 **急時措置** 

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく 限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 生物学的職業性ばく 露限界値

シャワー 設備対策

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 特別な保護具は必要とされない。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 無色 色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

**備考 · 方法** 情報なし データなし 100 °C / 212 °F 融点/凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲 -タなし

情報なし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし .

 引火点
 該当しない
 情報なし

 蒸発速度
 データなし
 情報なし

 分解温度
 データなし
 情報なし

 pH
 7.4

pH 7.4 **粘度** 

動粘性率データなし情報なし動的粘度データなし情報なし

粒径データなし該当しない粒径分布データなし該当しない

その他の情報

**爆発性** 情報なし 情報なし 情報なし

### 10:安定性及び反応性

情報なし

情報なし

情報なし

反応性 情報なし。

化学的安定性通常の条件下で安定。危険有害反応可能性通常の条件下で安定。

避けるべき条件情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

**静電放電に対する感度** なし。 **機械的衝撃に対する感度** なし。

#### 11. 有害性情報

#### 急性毒性\_

#### 毒性の数値尺度 - 製品情報

	化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	<b>吸入</b> LC50
	企業秘密	= 37000 mg/kg (Rat)	-	> 5.1 mg/L (Rat) 4 h
- 1				

症状情報なし。

**経口** この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

**吸入** この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

#### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.095 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

#### 13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

### 14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 IATA 規制対象外 <u>日本</u> 規制対象外

#### 15. 適用法令

#### 国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない **労働安全衛生法** 該当しない

通知対象物質

該当しない 表示対象物質

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

<u> </u>	0.0		
	化学名又は一般名	CAS番号	化審法
	企業秘密		優先評価化学物質

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

#### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

#### 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-08-09

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

#### 安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 TWA 経皮吸収 感作性物質

#### 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

EFA(不) 環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国医学図書館のPubMedナータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

**ごの**SDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合と除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、本がなれたなる場合がありません。 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-05-17 **改訂番号** 1.2

#### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Streptavidin-PE

カタログ番号 171304501, 9704418, 9703887, 9703897

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

**USA** 

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com 緊急連絡電話番号

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬 使用上の制限 情報なし

#### 2. 危険有害性の要約

GHS	分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でま 急性毒性(経口)	
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

#### ラベル要素

#### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

### 注意書き

安全対策 ・該当しない

#### 応急措置

・該当しない

該当しない

廃棄

改訂日 2023-05-17 Streptavidin-PE

該当しない

#### 他の危険有害性

該当しない。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

#### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法 <u>通知対象物質</u>

該当しない

<u>表示対象物質</u> 該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

**急性症状及び遅発性症状の最も重要な** 情報なし。 **徴候症状** 

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

#### 5. 火災時の措置

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

水噴霧でドラムを冷却すること 特有の消火方法

警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

**消火活動を行う者の特別な保護具及び** 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 **予防措置** 用保護具を使用すること。

#### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。 急時措置

改訂日 2023-05-17 Streptavidin-PE

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

<u>取扱い</u>

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 生物学的職業性ばく 露限界値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 特別な保護具は必要とされない。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

#### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

水溶液 物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

値 備考 · 方法

0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F 融点/凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性\_\_\_\_ データなし

情報なし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 該当しない 情報なし

蒸発速度 データなし 情報なし Streptavidin-PE 改訂日 2023-05-17

 自然発火点
 データなし
 情報なし

 分解温度
 データなし
 情報なし

pH 7.4 **粘度** 

動粘性率データなし情報なし動的粘度データなし情報なし

水への溶解度水と混和溶解度データなし情報なしn ーオクタノール/水分配係数(log値)データなし情報なし蒸気圧データなし情報なし

密度及び/又は相対密度

その他の情報

**爆発性** 情報なし 情報なし 情報なし

#### 10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性通常の条件下で安定。危険有害反応可能性通常の条件下で安定。

避けるべき条件情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

**静電放電に対する感度** なし。 **機械的衝撃に対する感度** なし。

#### 11. 有害性情報

### 急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

症状情報なし。

**経口** この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

**吸入** この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく 露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.02 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 **分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。** 

他の有害影響 情報なし。

#### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

#### 14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 ADR 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 日本 規制対象外

#### 15. 適用法令

#### 国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

#### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

#### 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-05-17

既存情報のフォーマット変更・更新済。

## 安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) TWA 天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

## 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

NIOSH(未国労働女宝衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

世界保健機構

#### <u>免責事項</u>

であるという。 このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2023-08-09

改訂番号 1

#### 化学品及び会社情報

化学品の名称 Cytokine Coupled Magnetic Beads (25x)

カタログ番号 10006311

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 **USA** 

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ 株式会社

140-0002

日本法人/連絡先住所

東京都品川区東品川2-2-24

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬 使用上の制限 情報なし

#### 2. 危険有害性の要約

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質	哲でも 泪入物でも かい
世介調和ノヘノム(GD3/ICよる/D関初有音圧の物)	貝じひ此口彻じひない
各州主州/奴口)	
急性毒性(経口)	

世介調和ンステム(GRS)による厄陕物有苦性の物質でも混合物でもない	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

#### ラベル要素

∩⊔c **八**粨

#### 危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

- **安全対策** ・該当しない
- 応急措置
- :該当しない
- 保管
- ·該当しない

ページ 59 / 64 JGHS / EN

・該当しない

#### 他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

#### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベ	化審法番号	安衛法インベ	安衛法番号
			ントリ		ントリ	
企業秘密	企業秘密	0.3 - 0.99	既存	収載なし	既存	収載なし

#### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u>

該当しない

表示対象物質

該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

**消火活動を行う者の特別な保護具及び** 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 **予防措置** 用保護具を使用すること。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を 行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。 環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界 許容濃度

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 生物学的職業性ばく 露限界値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、 呼吸用保護具

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 特別な保護具は必要とされない。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

#### 9. 物理的及び化学的性質

情報なし

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

ビーズ懸濁液を水溶液で希釈してください

物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

<u>備考 · 方法</u> 情報なし 融点/凝固点 <u>デー</u>タなし

100 ° C / 212 ° F 沸点、初留点及び沸騰範囲 データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし 爆発又は可燃の上限界 情報なし 情報なし **爆発又は可燃の下限界** データなし

pH 7.4 **粘度** 

**動粘性率** データなし 情報なし **動的粘度** データなし 情報なし

**水への溶解度** 部分混和性 データなし n ー**オクタノール/水分配係数(log値)** データなし 素気圧 データなし

蒸気圧データなし情報なし密度及び/又は相対密度データなし情報なし相対ガス密度データなし情報なし

 粒子特性
 粒径
 データなし
 該当しない

 粒径分布
 データなし
 該当しない

その他の情報

**爆発性** 情報なし 酸**化性** 情報なし

### 10: 安定性及び反応性

情報なし情報なし

反応性 情報なし。

化学的安定性通常の条件下で安定。危険有害反応可能性通常の条件下で安定。

避けるべき条件情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

**静電放電に対する感度** なし。 **機械的衝撃に対する感度** なし。

#### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

#### 毒性の数値尺度 - 製品情報

化学名又は一般名	<b>経口</b> LD50	経皮LD50	<b>吸入</b> LC50
企業秘密	= 37000 mg/kg (Rat)	_	> 5.1 mg/L (Rat) 4 h

症状情報なし。

**経口** この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

**吸入** この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

#### 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.0795 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性·分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

#### 13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

#### 14. 輸送上の注意

**IMDG** 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 <u>日本</u> 規制対象外

#### 15. 適用法令

#### 国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

is当しない **労働安全衛生法** 

通知対象物質

該当しない **表示対象物質** 

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

<u> </u>		
化学名又は一般名	CAS番号	化審法
企業秘密		優先評価化学物質

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

#### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

#### 16. その他の情報

作成者 改訂日 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2023-08-09

改訂記録

この安全デ・ ータシート には大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

# 安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例凡例項目8: ぱく露防止及び保護措置TWATWA(時間加重平均)天

経皮吸収

天井値

最大限界值 感作性物質

#### 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)
に対力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済技力開発機構、環境・健康・安全に関するスター

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

#### <u>免責事項</u>

でのSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり